日野高校魅力向上推進計画
令和５年度（短期計画）

ビジョン（目指す未来像）

魅力的な日野高校と持続可能な日野郡をつくる

魅力ある高校づくりが地域の持続可能化につながるという意味において、地域における高校の存在意義は非常に大きい。日野高校は日野郡の最高学府として、地域と連携・協働した教育活動を推進して魅力を高めるとともに、その教育活動が将来日野郡の未来を担う子どもたちを育成する役割を担う。このように、日野高校の魅力向上は、持続可能な日野郡を構築することを目指している。

ミッション（ビジョンを実現するための使命）

１．子どもたちが魅力を感じる教育とその環境の構築
２．ふるさとを想い、将来的の地域社会を担う人材の育成
３．教育を核とした持続可能な地域づくり

第１に、子どもたちにとって魅力的な教育環境を構築することで、地域内外の資源を教育活動に有効に反映させる。地域と連携・協働した取組みの結果として、子どもたちが地域に対して愛着・誇りを持つことが、第２の「将来的な地域社会を担う人材の育成」につながる。このような取組みが、第３の「教育を核とした持続可能な地域づくり」につながる。

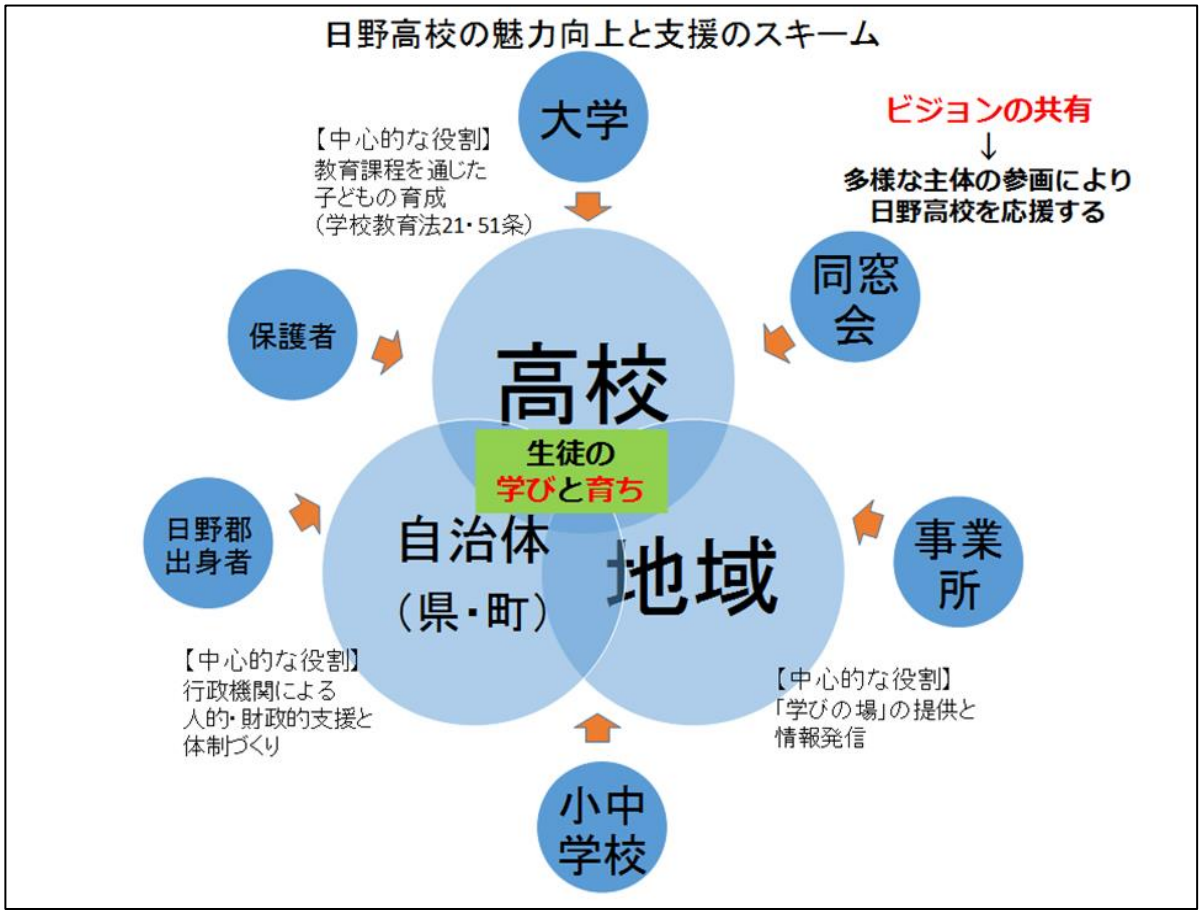
数値目標（評価指標）

ビジョンとミッションを達成するために、以下の具体的な数値目標を設定し、達成することを目指す。

数値目標　／　入学年度	R２年度（実績）	R３年度（1年度目）	R４年度（２年度目）	R５年度（３年度目）	R６年度（４年度目）	R７年度（５年度目）
日野高校への入学者数　（目標）	－	38名	48名	57名	67名	76名
（郡内入学者数）	７名	12名	18名	18名	17名	18名
（県内入学者数）	17名	16名	16名	21名	28名	32名
（県外入学者数）	３名	10名	14名	18名	22名	26名

令和５年４月改訂
日野高校魅力向上推進協議会

短期計画を実施するための方策



（１）日野高校における対応

生徒の学びと育ちを中心に据え、教育内容の魅力向上を図る。また、推進協議会及びWGで意思決定・合意・検討・実行された項目について、教職員と共有を行い、校内の意思統一を図る。

（２）関係機関との連携

将来的な日野郡の教育体系を形作るためにも、特に日野郡内の保育所・園、小学校、中学校、まなびや縁側、各種事業所や自治体等との連携は不可欠である。郡内で補いきれない地域資源については郡外との連携を模索し、日野高校の教育目標に到達できるようにする。

（３）行政による支援体制と事務局体制の強化

行政は、ふるさと教育推進協議会との連携・協働を模索しつつ、推進協議会・WGの体制を維持して日野高校の魅力向上に取り組む。また、事務局体制の強化のための方策を検討する。

魅力向上を推進するための支援体制

（１）「まなびや縁側」との連携

将来的な「日野郡版地域連携教育」の実現と日野郡教育循環モデル構築を見据えた連携を行う。令和４年度から３町ごとの拠点が整備され、各町の保育・義務教育との連携がより一層強まる。

（２）法人組織の構築

法人化を視野に入れた体制の樹立に向け、協議会推進局を立ち上げ、事業の推進と連携を図る。

（３）全国組織・高校との連携体制構築

オンラインを活用した授業交流や、他流試合としての発表の機会の提供などが考えられる。すでに「地域みらい留学」への参画を通して全国の高校と徐々につながり始めている。これをさらに一歩進め、具体的な連携まで体制を構築できることが理想である。日野高校が目指す「グローカル人材」育成のために、グローバルな機会を提供しつつ、国内の多様な高校・地域と連携することにより、教育内容の幅も広がる。